

令和4年2月7日

各高齢者施設管理者 殿

山梨県知事 長崎 幸太郎

(公印省略)

オミクロン株の特徴等を踏まえた高齢者施設の感染防止対策について(依頼)

平素より、新型コロナウイルス感染拡大防止対策への御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

本年1月以降、全国的にオミクロン株の感染が急拡大し、本県におきましても、連日のように複数の施設で感染が発生し、大規模なクラスターも報告されております。

オミクロン株は重症化しにくいとされていますが、高齢者が罹患すると全身状態の悪化を引き起こし、入院が長期化するとの指摘もあり、改めて感染防止対策を徹底する必要があります。

このため、1月に実施していただいた集中自己点検の結果や全国で確認されているクラスター発生事例(別紙参照)を踏まえ、次のとおり特に留意すべき事項をまとめましたので、改めて感染対策の徹底をお願いいたします。

- ・食事時間をなるべく分散し、共用部分の利用前後の消毒を徹底
- ・入浴時間をなるべく分散し、入浴介助の際は、介助者のマスク着用を徹底
- ・送迎バス利用時の座席の距離の確保や十分な換気を実施
- ・入所者へ可能な限りマスクの着用を勧奨
- ・入所がマスクを着用できない場合、職員のマスクとアイガードの着用を徹底
- ・職員の体調管理を徹底し、入所者に感染を広げない

【問い合わせ先】

福祉保健部 健康長寿推進課 TEL:055-223-1455

高齢者施設における設内感染対策のための自主点検結果（集計）

※チェックリスト提出施設数・・・318

項目	種別	高齢者施設	
	施設数	366	
	提出数	318	86.9%
1) 発熱者等の施設への入場防止			
①	職員等の検温・体調確認、発熱者等の出勤停止、受診勧奨	318	100.0%
②	体調不良者の帰宅、受診勧奨	318	100.0%
③	来訪者のマスク着用、入場時等における手指の消毒、手洗いの徹底	317	99.7%
④	来訪者の検温・体調確認、発熱者等の来訪禁止	312	98.1%
⑤	休みやすい体制、バックアップ体制などの整備	316	99.4%
2) 3つの「密」（密閉・密集・密接）の防止			
⑥	施設への大人数の来訪を制限	310	97.5%
⑦	部屋の換気を定期的実施	297	93.4%
⑧	対人距離（約2m間隔）の確保が難しい部屋の利用人数を制限	300	94.3%
⑨	会議の際の密の回避	298	93.7%
3) 飛沫感染、接触感染の防止			
⑩	職員等のマスク着用、手指の消毒、手洗いの徹底	317	99.7%
⑪	自宅や家族間においても体調不良者がいる場合、相互にマスクを着用	295	92.8%
⑫	施設内は1日に3～4回以上、人が触れる部分を中心に消毒	313	98.4%
⑬	職場内の飲食時や喫煙時の感染対策の徹底	307	96.5%
4) 移動時における感染の防止			
⑭	職員等の出勤時の対策（時差出勤、自家用車等による出勤の推進）	303	95.3%
⑮	出張の抑制（オンライン・書面会議などを活用）、来訪者数の制限	313	98.4%
⑯	複数人数での移動時における車内でのマスク着用、会話の抑制	290	91.2%
5) 職場外行動での自己管理の励行			
⑰	職場外での高リスク行動や感染拡大地域への移動等の自粛、自己管理の励行	317	99.7%
6) 受診・検査の実施			
⑱	軽微でも発熱や風邪症状がある場合は、速やかな受診とPCR検査の勧奨等	308	96.9%
7) 面会について			
⑲	緊急時を除き当面の間は中止、オンライン又は窓越し面会等での実施	304	95.6%
⑳	緊急時については、感染対策に留意して実施	299	94.0%

<高齢者施設や医療施設における感染拡大事例>

感染拡大の要因	感染規模	感染状況等
マスクなしでの昼食介助	高齢者施設 17人	介護場面での、職員・利用者の密接な接触。職員は昼食時はマスクなしだった(会話はしないようにしていた)。
食事時の感染防止策の不徹底	特別養護老人ホーム 58名(入居者、職員)	居住階の異なる入所者が食堂に集合し、向かい合わせ、パーティションなしの状態ですべて食事をとっていた。また、職員が階をまたぎ全館入所者に対応していた。

対策例

- ・職員、利用者ともに常時マスクを着用
- ・共用部分の利用前後の消毒の徹底

- ・定期的な換気
- ・ゾーニングの指導・徹底による拡大防止

※類似の事例は全国で発生

感染拡大の要因	感染規模	感染状況等
マスクなしでの入浴介助	病院、介護施設等(複数施設、人数未確定)	入浴介助に際し、暑さ、息苦しさから介助者がマスクをはずして感染を拡大させた。
複数人による同時入浴	高齢者施設 15人	入居者はマスクなし。浴室は共同で、複数人が同時に利用。ブレイクスルー感染も確認された。

対策例

- ・職員の常時マスク着用
- ・お互いに顔を近づけず、会話をしない
- ・機械浴の利用を提案
- ・入浴時間帯を分けるなどの分散入浴の実施
- ・入浴中も換気を徹底

感染拡大の要因	感染規模	感染状況等
送迎バス内の換気不足	通所型リハビリセンターの送迎バス 9人	送迎中に換気のため窓をあけていたものの、車内循環の暖房を常時入れていたことから、換気が不十分であったと思われる。

対策例

- ・送迎バスの十分な換気対策の徹底

感染拡大の要因	感染規模	感染状況等
マスクなしでの体操実施	高齢者施設 31人	入所者が毎朝マスクなし・集団で健康体操をしていたほか、施設の感染対策が不十分(消毒液の設置、PPE着脱等)で感染が拡大したと思われる。

対策例

- ・入所者へのマスク着用の勧奨
- ・職員のマスクとアイガードの着用の徹底 等